

学校の

GB

TQと

未来

5 ジェンダー平等を
実現しよう



○活動動機

性別による偏見や差別などを無くすことで、学校を皆が自分らしく、ありのままの姿で過ごすことのできる場所にしたいと考えました。

○学校の現状

私達の学校では、全体的にジェンダーの方に配慮した取り組みが少ないと感じました。

その中でも、更衣室やトイレが挙げられます。更衣室は男性用と女性用しか設けられておらず、トイレのマークや個室の壁の色は女性が赤、男性は青でデザインされています。

また、多目的トイレは保健室の許可がないと使用することができない決まりになっていることが分かりました。

このような状況をふまえて、私達のかで何ができるのかを探究しました。

バックグラウンド

宮城学院女子大学

☆2021年度からトランスジェンダーの生徒の受け入れを始めた



生徒さんがデザインしたマーク



衛生的にも良い



折り畳み式だから場所を取らない

○目的

- ・実際に具体的な取り組みを行っている所を訪れ、私達の学校と比較して足りない所を明確にするため。
- ・自分達のみで見てみることでより現実的な課題を得るため。

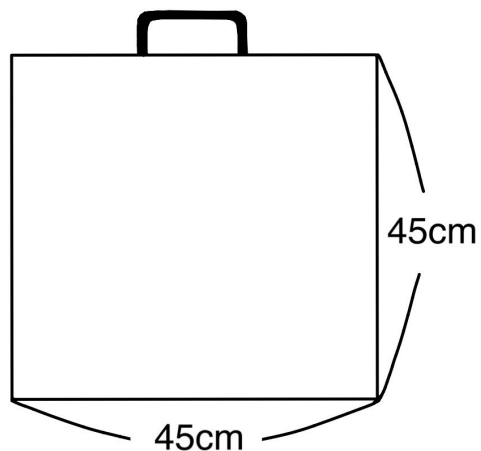
○学んだこと

- ・女、男という性別に違和感がある人が人の目を気にせずに着替えることができる着替えボードが多目的トイレに設置してあった
 - ・トイレのマークは生徒さんが作成したものを使っていた
 - ・女性用、男性用のトイレのマークの色が統一されていた
- ☆着替えボードは車椅子などの障害にならない

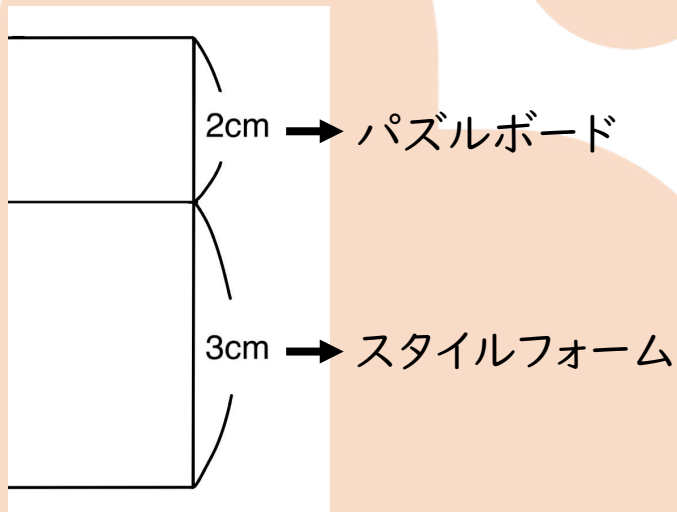
○そこから導いた課題

- ①着替えボードの設置
- ②マークのデザイン制作

着替えボード



断面図



*サイズ
45×45×5cm

*材料
スタイルフォーム
パズルボード
吸盤付きフック

○スタイルフォームにした理由

- ・費用の削減
- ・加工がしやすい
- ・軽いため使用者の怪我防止になる
- ・地震が起きて倒れたとしても安全で壊れない

○パズルボードを接着する理由

- ・強度を上げる(スタイルフォームのみだと傷つきやすいため)
- ・拭き掃除をできるようにする

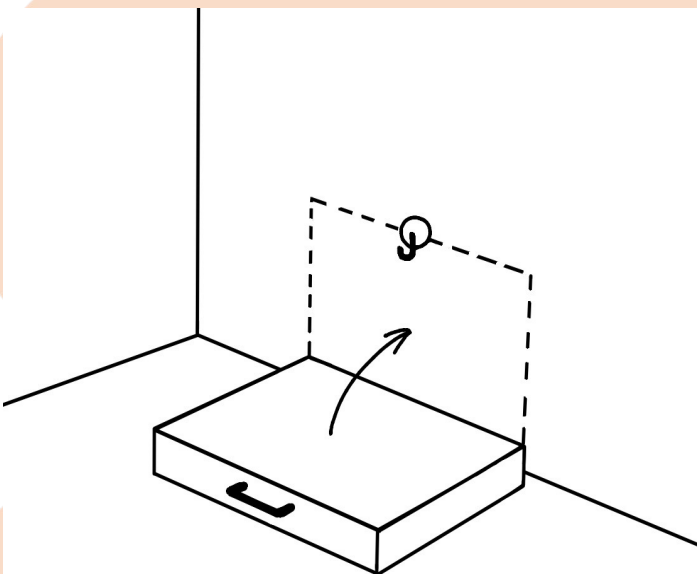
○設置場所

- ・1階から3階の各階の多目的トイレ(計3か所)

◎着替えボード本体に取っ手
壁に吸盤付きのフックを取
り付ける

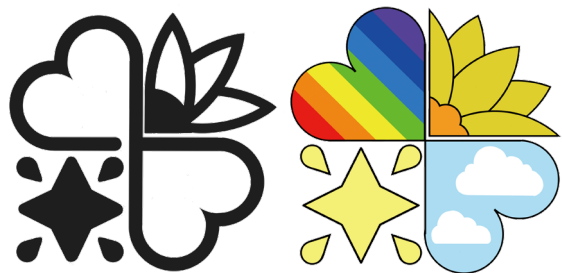
使うとき
→壁から外して床に置く

使わない時
→壁のフックにかける



マークデザイン

OLD



○モチーフ

四葉のクローバー

デイジー → 花言葉「ありのまま」

にじいろ → 多様性

星 → 輝く

空 → 幸福、自由、希望、未来

フィードバックを基に旧ジェンダーマークの色や造形を新たにデザインしました。

>OLD

- ・含まれている要素が多すぎる
- ・マークの説明が無しでは分かりにくい

ぱっと見て分かりやすい

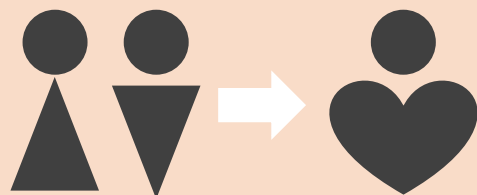
シンプルかつ単純で工夫されて

いるデザインの造形

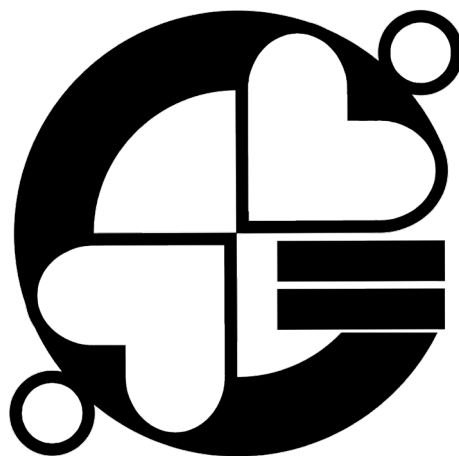
を目標としました

>NEW

- ・モチーフの四葉のクローバーはそのままに
- ・色盲の方の配慮のため、単色のピクトグラムでデザインを統一
- ・遠くから見てもしっかりと伝わるように印象を強く
- ・GENDERの「G」の文字がハート(人の心)を包み込むように構成
- ・日本で広く共通で認識されているトイレマークを活用して「心」を表現
- ・SDG2のジェンダー平等マークの「=」を「G」の文字に取り入れて「平等」を表現



NEW



5 ジェンダー平等を
実現しよう



GENDER

G

さいごに



自分らしくありのままで

この先「共生」していくにあたって、性被害などを無くし、みんなが安全に暮らしていくために、性別の「区別」は必ず必要になります。しかし、その中で自分がどんな色をもち、どんな自分になるかを決めるのは自分自身です。それを誰かが否定する「差別」行為は絶対に許されません。しかし未だ「差別」は消えてはくれません。何気なく発したその一言が誰かの心を傷つける刃物になります。自分勝手な理想を押し付けて誰かを傷つけていませんか。

あなたのもつ「色」はあなただけのものです。皆が安心してありのままに輝けるように、私達は少しでも力になりたいと思っています。私達の計画は小さな一歩にすぎないけれど、それが誰かの支えになったらとても嬉しいです。

この先私達は、計画した内容を実行に移していきます。入学してくる生徒達にも安心して過ごせる学校を作っていくたいです。